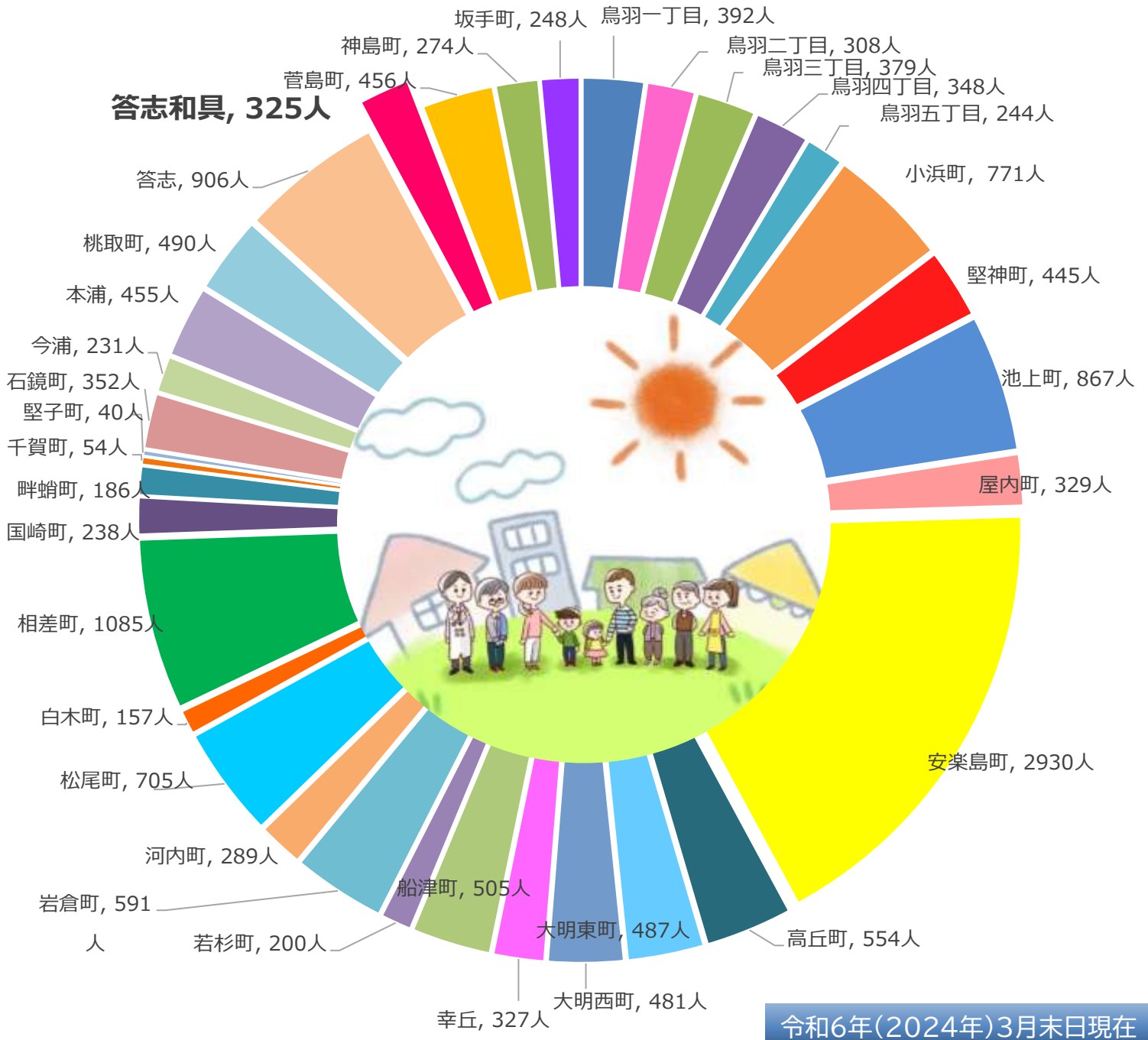


答志和具

くらしに役立つ情報を紹介!

まちのカルテ



令和6年(2024年)3月末日現在

*この人口グラフは、住民基本台帳を基に作成しました。実際の自治会・町内会の人口とは異なる地区もあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



あなたはわがまちのことをどれだけ知っていますか？ だれかとつながっていますか？

まちには、高齢者、若者、子ども、外国人、新しく引っ越ししてきた人、、、さまざまな人たちが住んでいます。まちによってさまざまなつながりがあります。

しかし、近年つながりの希薄化や、社会的孤立のために、8050問題やひきこもり、孤立死といった社会問題が危惧されています。日本全体で人口減少が進んでいますが、鳥羽市でも人口が1万人になると予想される今、これからも住み慣れた鳥羽のまちでしあわせにくらすために、まちに住むだれもが、「だれかと」「どこかで」つながりを持ち、孤立することなく、困ったときに「困った」と言えて助け合えることが大切です。

このカルテは、町内会・自治会ごとに、『相談できる場所など暮らしやすさにつながるお役立ち情報』や『人とひとのつながりに関する情報』を、まちの方々に情報をいただきながら作成しました。まちのつながりを「見える化」することを目的としていますので、わがまちのつながりを確認したり、充実させていくきっかけとなれば幸いです。

まちのカルテは、鳥羽市内すべての町内会・自治会にて作成しておりますので、他町のまちのつながりを知ることや参考にすることも可能です。他町内会・自治会のまちのカルテにつきましては、社協までお問い合わせください。（社協のホームページにも掲載されております。）

社協は、誰もが暮らしやすいまちづくりを行うために住民主体の地域福祉を推進する団体です。

「だれかと集いの場をつくってみようかな」

「気になることがあるので相談してみようかな」

そんな時には、社協へお気軽にお問い合わせください。




（鳥羽市社会福祉協議会まちのカルテ）

目次

年間の主な行事	3
町内会	5
まちのグループ	6
くらしや生活に関する悩みごと相談	8
住民同士のたすけあい・まちをこえたつながり	9
つどいのマップ	10
生活情報	11
おたがいさまのまちづくりをめざして	12
答志和具×まちトーク	13

まちのカルテに記載されている各団体の活動内容等につきましては、団体の都合等により、現在の活動内容とは異なる場合がありますことをご了承ください。



年間の主な行事

6月 県道の清掃、浜清掃（老人会）、側溝の掃除（2年に一度）

7月 天王祭

8月 井戸替え

16日 精霊送り（いっきゃれ）


31日 おいやれ（にきゃれ）

9月 敬老会

11月 道路清掃、浜清掃（老人会）

1月 獅子舞

2月 神祭



答志和具について

答志和具は、鳥羽港の北東約 2.5 km に位置する鳥羽市最大の島の集落のひとつ。関ヶ原の戦いに敗れ自刃した、鳥羽城主・九鬼嘉隆の首塚・胴塚などの史跡があります。漁場が豊かで、トロさわらや、ワカメ業がさかんです。戸籍上の兄弟ではない人同士が、終生、兄弟以上の付き合いをする制度「寝屋子制度」があります。

(HP 鳥羽市/答志島 (city.toba.mie.jp) より)



町内会

町内会・自治会とは・・・

同じ地域に住む人々がお互いの協力のもと、住民同士のふれあいを深め、話し合い、助け合うために自主的に運営されている住民自治組織です。

活動内容は組織により異なりますが、よりよい地域づくりのため活動を行っています。

(防犯灯維持管理、自主防災活動、地域の親睦交流、ごみ・リサイクル、環境美化活動、広報・情報の伝達、社会福祉活動)



役員	《役員数 全 10 名》 会長 : 山本 春久 副会長兼会計 : 1 名 役員 8 名 (組長 : 1 名)
任期	2 年
組数	5 組
加入状況	加入世帯 : 1 0 0 %
活動内容	役員会 年間約 10 回程度(臨時開催もあります。) 各種団体との協議 2、3 回程度 町内会と、各種団体で色々な行事に協力しあっています。 町のボランティア活動も頑張っています。
周知方法	町内有線放送 : 行事案内、緊急放送 掲示板 : 3 箇所
防災組織	自主防災会あり 2 年に 1 回防災倉庫の入れ替えを行っています。 各組で避難道の確保の確認をしてもらっています。

町内会・自治会に加入しませんか？

町内会・自治会に加入するには、お住まいの町内会長・自治会長さんまたは鳥羽市役所市民課 (25-1162) にご相談ください。

まちのグループ

和具浦老人クラブ パールライフ鳥羽

会長：濱口 博

同一地域に暮らす高齢者が集い、会員自らの生きがいと健康づくり、仲間作り、地域を豊かにすることを目的に「健康・友愛・奉仕」を柱とした活動を行っている自主的な組織です。『伸ばそう健康寿命、担おう地域づくりを』を活動テーマとしています

主な活動

- ・年2回浜清掃
- ・1月15日ころにはしめ縄を焼く作業を行っています。
- ・シルバーヘルパー2名を設置し、一人暮らしの高齢者を対象に、見守り活動等の地域の支え合い活動を行っています。

鳥羽市消防団 答志分団第4部

答志分団 第4部 部長：山本 剛史

その地域に「住んでいる」「働いている」人によって、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき構成される市町村の消防機関であり、普段はサラリーマンや自営業など自分の仕事を持ちながら、災害発生などの非常時には自宅や職場から災害現場へ駆けつける非常勤特別職の地方公務員です。女性が活躍している地区もあります。



主な活動

- ・消火栓の訓練
- ・災害時の待機
- ・地域の見回り
- ・井戸の掃除
- ・祭りなどの地域の行事の警備

婦人会

代表：中村 とよみ

主な活動

- ・月1回、交代で九鬼の館の清掃
- ・玉ねぎの苗の注文販売
- ・運動会にて民謡を踊ります
- ・敬老会の準備・接待
- ・県道の草刈り・清掃など町内会行事の手伝いをしています。

和具いきいきサロン (ふれあい・いきいきサロン事業)

地域の交流の場である「ふれあい・いきいきサロン」は、地域住民を対象として、少人数から気軽に集える場を自主的に開催し、その集いの中で、顔見知りの関係づくりや、地域の支え合いを深めることを目的としています。「気軽に・楽しく・無理なく」をモットーに、それぞれの地域にあった運営の仕方、楽しい時間を過ごしています。



主な活動

- ・不定期に開催
- ・体操をして楽しんでいます。

ふれあいきいきサロンのページへジャンプします▶



答志島活性化21委員会

代表：山本 芳照

答志島の活性化を目的として、3町合同で立ちあげられました。

主な活動

- ・現在は、年に1回ウォーキングのイベントを開催して、健康管理の機会をつくっています。

青少年育成会

代表：濱崎 幸弘

町内会や漁協、老人会、婦人会、青年団、警察など答志中学校区にある全ての団体で構成され、様々なイベントを実施している。イベントは誰でも参加でき、スタッフも限定しない。支える人も支えられる人も主役は全員。

主な活動

- ・4月 みんなの潮干狩り
- ・8月12日 みんなの夕涼み会
- ・12月 もちつき大会



答志小学校 学校運営協議会(コミュニティスクール)

代表：答志町内会長 西川 豊幸

学校運営協議会は、学校と保護者、地域住民が一体となって学校運営の改善や児童の健全育成に取り組み、「地域とともにある開かれた学校づくり」を進めることを目的としています。

学校だけでなく、答志のいろいろな人の力を借りて、これまでよりも子どもたちをよりよく育てていく会にしていきたいと考えています。

主な活動

- ・児童が減少し複式学級が増えていく学校の現状を共有し、ボランティアやゲストティーチャーとして教育活動に協力していきます。
- ・地域で子どもが安心・安全に生活するために、自転車の乗り方、あいさつ、帰宅について等の声かけを行っていきます。



ねやこや運営委員会

子ども達の学びと体験の場所として、ねやこやを居場所として、子どもから高齢者までの全ての地域住民の居場所づくり及び島外から人との交流の場所の運営をするために、地域住民が委員となって意見を出し合い活動しています。

主な活動

- ・会議を行い、子どもから高齢者までが集え、楽しめるためのアイデアをだしあっています。

くらしや生活に関する悩みごと相談

民生委員・児童委員

答志和具民生委員：山本 芳照 TEL：0599-37-2278

生活上の心配ごとや福祉のサービスに関する悩み、子育ての相談、このほか地域で気になることなど、くらしに関する相談をお受けします。相談いただいた内容は、市役所や関係機関などへつなぎます。

私たちは厚生労働大臣に
委嘱されて活動
しています



主任児童委員（鳥羽市全域で3名）

主任児童委員：小竹 由起子、上村 裕子、濱田 浩

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会 福祉推進係 TEL：0599-25-1188

地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を専門的に担当しています。

地域福祉推進員

和具地域福祉推進員：山本 明美、橋本 里美

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会 TEL：0599-25-1188

地域の方の見守りをしたり、福祉の困りごとを発見して、民生委員や必要な機関につないでいく活動をしています。

私たちは鳥羽市社会福祉協議会
会長に委嘱されて
活動しています



まるごと相談（鳥羽市社会福祉協議会）

お問い合わせ 鳥羽市社会福祉協議会 TEL：0599-25-1188

電話・メール・窓口・訪問 いずれかの相談になります



メール相談専用フォーム

※メール相談は回答までに数日
お待ちいただくことがあります

生活の中でお困りのこと、悩みごと、ご近所の方で気になること、どこに相談したらいいかわからないなど、福祉のことならなんでもご相談ください。鳥羽市社会福祉協議会の専門職員（コミュニティーソーシャルワーカー）が不安を解消するお手伝いや、地域の課題を地域で解決するための仕組みづくりを応援させていただきます。



住民同士のたすけあい～有償ボランティア～

協力会員さんを募集しています!!

ほっとスマイルサービス

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会
TEL：0599-25-1188



病院の付き添いやゴミ出しなどといった、ちょっとした困りごとを、有償ボランティアの助けあいによって、「だれもが安心して暮らすことができるまちづくり」をすすめていくサービスです。ご利用についての相談などは社協までお問い合わせください。

とばファミリーサポートセンター



申込・問い合わせ：山本 道子
TEL：080-3684-5310
または鳥羽市健康福祉課子育て支援室
TEL：0599-25-1184



ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けをして欲しいかた(依頼会員)と手助けをしてあげられるかた(提供会員)が、地域の中で助け合いながら子育てをしていく組織です。

離島在住高齢者等 通所サービス支援事業 (島内介助・船内介助)

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会
TEL：0599-25-1188

定期船を利用して移動することが困難な離島在住者を対象に、介護施設等へ通所するために、自宅から桟橋まで付き添う「島内介助」と船に乗って降りるまで付き添う「船内介助」を行っています。

対象者は坂手町、答志町、桃取町、菅島町に住所をもつ方で下記の条件のいずれかに該当する方です。

・介護認定を受けており、本土のデイサービス等を利用するために介助の必要があるとケアマネジャーから認められた方。

・市内の障がい者福祉施設を利用する方。

まちをこえたつながりを紹介します

大人から子どもまで、だれかとどこかでつながって楽しみませんか

※QRコードからアクセスできます

地域・子ども食堂

とば地域・子ども食堂ネットワークに加盟している地域・子ども食堂を紹介します。



鳥羽市社会福祉協議会 TEL：0599-25-1188

鳥羽市ボランティア団体 (ボランティアセンター)

ボランティア活動に興味があるかた、ボランティアセンターに登録したいかたは、社協までお問い合わせください。



鳥羽市社会福祉協議会 TEL：0599-25-1188

鳥羽市内スポーツ団体

スポーツを通して大人も子どもも楽しみませんか!

鳥羽市
体育協会



鳥羽市
スポーツ
少年団



鳥羽市教育委員会生涯学習課 TEL：0599-25-1271

市民活動団体 108SMILE

市ホームページにて市民活動団体を紹介しています!くわしくは、QRコードを読み取ってご覧ください。



108SMILE

市民課人権・市民交流係 TEL：0599-25-1126

つどいのマップ

地域の方が集える場所をマップにしました♪



4

ねやこや

答志島の教育の魅力化、高齢者の居場所づくりを目的とした拠点です。子どもを中心とした海洋教育の拠点かつ島の皆さんが集える場として現在進行形で生まれ変わっています。2階は学習スペースとなっており、子ども食堂、ラジオ体操などを行っています。



ねやこや
Instagram



生活情報

生活

- 食料品店等 やまや、かねきん、ヤマニ
- 食事処等 まるみつ、大春、ハマウ、いそぶえ
- 銀行 JFマリンバンク
(三重県信用漁連伊勢鳥羽支店)
- 理容店 橋本
- 電気屋 和具電機
- ガソリンスタンド 漁協組合

ゴミの集積方法

- 可燃ごみ(月、金)
紙類(段ボール新聞雑誌) (火曜)、
リサイクル・金属類 (月2回) 粗大(3か月に1回)
ゴミ捨て場： 1か所

教育機関

- 鳥羽市立答志小学校
- 鳥羽市立答志中学校

保育機関

- 答志保育所

公共交通機関

- 鳥羽市連絡所

避難所

- 津波避難場所
答志中学校、首塚、他6か所
- 風水害等避難所
洪水/高潮：答志和具コミュニティ
センター
土砂：
指定避難所：答志和具コミュニティ
センター

宿泊施設

- ホテル・旅館
寿々波、八島、山幸園、中村屋、
宝屋旅館

福祉事業所

- 医療法人豊和会
デイサービスセンター答志島

桃取診療所行きバスについて

- 診療所の診察日に運行しています
ハマウ駐車場発 桃取診療所行き 8:40 と 13:10 (ハマウ駐車場発)

おたがいさま の まちづくり



鳥羽市社会福祉協議会
地域力強化推進事業

鳥羽市の人口は令和6年3月末現在 16,649人です。今後ますます人口減少、少子高齢化のスピードがアップし、財政的にも人的にも福祉サービスだけに頼ることが難しくなり、制度では対応できない困りごとが増えていきます。困ったときや、手助けが必要な人を見つけたときに、ご近所の人たちや社会福祉協議会、自治会、行政、民生委員、ボランティアなどが協力し「お互いさま」の関係で助け合うことができる地域の絆が「地域力の強化」につながります。

いま、日本じゅうで、このような困りごとを抱える方が増えています

- ◎介護と育児の問題を同時に抱える人（ダブルケア）
- ◎80代の親と働いていない50代の子が同居する生活困窮世帯（8050問題）
- ◎からだが弱ってきて買い物に行けなくて困っている
- ◎掃除や料理、ゴミ出しなどをする事ができない



ひとつの世帯で複合的な課題を抱えている



公的な福祉の対象ではないけれど、支援がなく困っている

以前ならご近所の方に助けをもらうこともできましたが、町内でのつながりがうすい場合は、誰にも相談できず、気づかれずに孤立して、問題を深刻化させるケースも少なくありません。住民の困りごと、町の困りごとを社協も一緒に、課題解決に向けて考えます。



地域で支え合う関係づくりをめざして、次の取り組みを行います！

まるごと相談

住民の困りごとや地域の課題など福祉に関する困りごとをまるごと受け止めます。

町内で受け止めた個人や町の困りごとを社協も一緒に考えます。



まちのカルテ更新

いまある「まちのつながり」や「相談できる場所」を「見える化」します。このカルテをまちの支えあい、つながりづくりのきっかけにしていだけたらと思います。



まちトーク

住み慣れたまちで安心して暮らせるように、地域の困りごとや課題について、日ごろ感じていることを話し合い、地域全体で課題を解決していくしくみづくりを一緒に考えてみませんか。

まちの資源・課題の発見、顔の繋がりの強化、担い手の発掘、課題解決に向けた取り組みにつながるなど、さまざまな効果があります。

話し合いから成功体験までを応援する 地域力アップ応援金！

まちトークの話し合いをもとに、住民主体の取り組み（居場所づくりや、見守り・買い物・ゴミ出しの生活支援など）を始めたいときには、スタートアップのための補助金制度があります。詳しくは社協までお問い合わせください。

お問い合わせ先 鳥羽市社会福祉協議会 TEL 0599-25-1188

答志和具×まちトーク (令和元年6月25日 第1回まちトークにて)

答志和具のより良い未来の為に地域のみんなで考えました。

地域の強みや良いところ



地域の課題や生活福祉課題（地域の困りごと・心配事）

雇用・仕事

・稼げるところがない

社会参加・教育

・家にいるとすることがない
・カラオケがあったがすることがなくなってしまった
・若い老人の集まりが悪い
・70代は現役で働いているので、夜の集まりは難しい
・2月から5月頃までの半年間はワカメが忙しいのでサロンには集まらないと思う

居住環境

・イノシシの被害がある
・物価が高い
・子どもたちの楽しむところがない

人のこと

・若い人がいなくて寝屋子ができない
・小学生は10人くらい
・親が子に島外に出ていくように言う
・80代になると本当の高齢者になる
・遊ぶことに罪悪感がある

地域で取り組んでいきたいこと、今後の展開、方策について

- ✓ 月1回集まったらどうか（防災のことなどテーマを変えて）
- ✓ 6月から12月なら夜に楽しめる何かができそう
- ✓ 人口減少をくい止めないといけない
- ✓ 移住してもらおう。若い人（男女）が来たら良いのでは
- ✓ 大企業誘致
- ✓ 子育てが最高ということを全国にアピールしたい
- ✓ 盆踊りの踊りを教えてほしい





鳥羽市社会福祉協議会
ホームページ



福祉ウェブ



公式Instagram




公式フェイスブック



まちのカルテ

初回アセスメント：2019年7月9日

最終更新日：2024年6月7日

お問い合わせ： 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会 福祉推進係地域力強化推進事業

〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町 2-5 鳥羽市保健福祉センターひだまり内

TEL:0599-25-1188 FAX: 0599-25-1117

mail : soumu@toba-shakyo.or.jp

